

## 災害(さいがい)の 日本語(にほんご) リスト

注意報	ちゅういほう	災害(さいがい)が 起(お)きるかもしれないときの お知(し)らせ。「大雨注意報(おおあめちゅういほう)」など。
警報	けいほう	特(とく)に 大(おお)きい 災害(さいがい)が 起(お)きるかもしれないときの お知(し)らせ。「大雨警報(おおあめけいほう)」「津波警報(つなみけいほう)」など
特別警報	とくべつけいほう	「警報(けいほう)」より ずっと 大(おお)きい 災害(さいがい)が 起(お)きるかもしれないときの お知(し)らせ。情報(じょうほう)を よく 聞(き)いて、命(いのち)を 守(まも)って ください。
暴風雨	ぼうふうう	とても 強(つよ)い 風(かぜ)と 雨(あめ)
暴風域	ぼうふういき	台風(たいふう)で とても 強(つよ)い 風(かぜ)が 吹(ふ)く 場所(ばしょ)。
風速	ふうそく	風(かぜ)の 吹(ふ)く 速(はや)さ。
余震	よしん	大(おお)きい 地震(じしん)の あとの 地震(じしん)。何日間(なんにちかん)も 続(つづ)く かもしれませぬ。
津波	つなみ	地震(じしん)のあとの とても 高(たか)い 波(なみ)。
避難	ひなん	逃(に)げること
避難所	ひなんじょ	大(おお)きい 災害(さいがい)の とき、逃(に)げる 場所(ばしょ)。安全(あんぜん)な ところ。家(いえ)が 危(あぶ)ないとき、しばらく 避難所(ひなんじょ)で 生活(せいかつ)します。
避難場所	ひなんばしょ	大(おお)きい 災害(さいがい)の とき、少(すこ)しの 間(あいだ) 逃(に)げる 場所(ばしょ)
避難勧告	ひなんかんこく	「災害(さいがい)が 大(おお)きくて、とても 危(あぶ)ないので、逃(に)げて ください」という お知(し)らせ。市役所(しやくしょ)などが 出(だ)します。
避難指示	ひなんしじ	「避難勧告(ひなんかんこく)より 危(あぶ)ないので、逃(に)げて ください」という お知(し)らせ。市役所(しやくしょ)などが 出(だ)します。
高潮	たかしお	台風(たいふう)などのせいで、海(うみ)の 水(みず)が とても 高(たか)くなります。
洪水	こうずい	雨(あめ)が たくさん 降(ふ)ります。水(みず)が 川(かわ)を 越(こ)えて、道(みち)にも たくさん 来(き)ます。
浸水	しんすい	家(いえ)の 中(なか)に 水(みず)が 入(はい)ります。
崖くずれ	がけくずれ	山(やま)から、土(つち)や 大(おお)きい石(いし)が たくさん 落(お)ちます。
警戒	けいかい	とても 気(き)を つけます。
倒壊	とうかい	家(いえ)や ビルが 壊(こわ)れます。
通行止め	つうこうどめ	危(あぶ)ないので、通(とお)れませぬ。
被災者	ひさいしゃ	災害(さいがい)で けがをした 人(ひと)や、家(いえ)が なくなった 人(ひと)
安否確認	あんびかくにん	家族(かぞく)や 友(とも)だちが だいじょうぶか 調(しら)べます。
行方不明	ゆくえふめい	どこにいるか、わかりませぬ
非常食	ひじょうしょく	災害(さいがい)の ときの ために、準備(じゅんび)しておく 食べ物(たべもの)や 飲み物(のみもの)
炊き出し	たきだし	災害(さいがい)の ときに あたたかい ごはんを 配(くば)ります
停電	ていでん	電気(でんき)が とまります
断水	だんすい	水(みず)が 出(で)ませぬ
り災証明書	りさいしょうめいしょ	災害(さいがい)で 家(いえ)が どれくらい 壊(こわ)れたか 証明(しょうめい)する もの
仮設住宅	かせつじゅうたく	災害(さいがい)で 家(いえ)が なくなった 人(ひと)が 住(す)む、簡単(かんたん)な 家(いえ)